

No.677 April 2013

ASAHI MACHI

Public Relations

◎ 広報 あさひまち

2013

4

No.677

仲良し3人きょうだい
今日から学校でもいっしょ♪

■特集

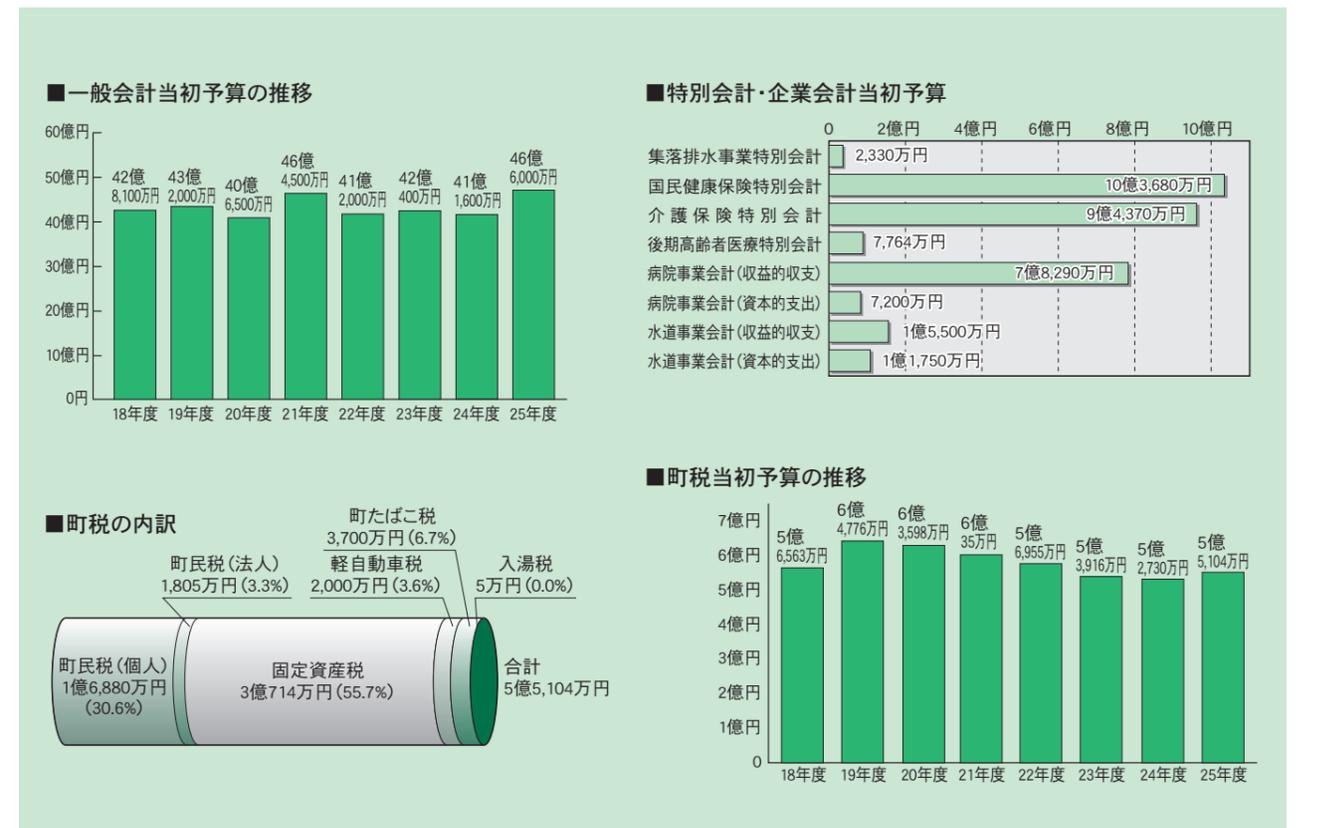
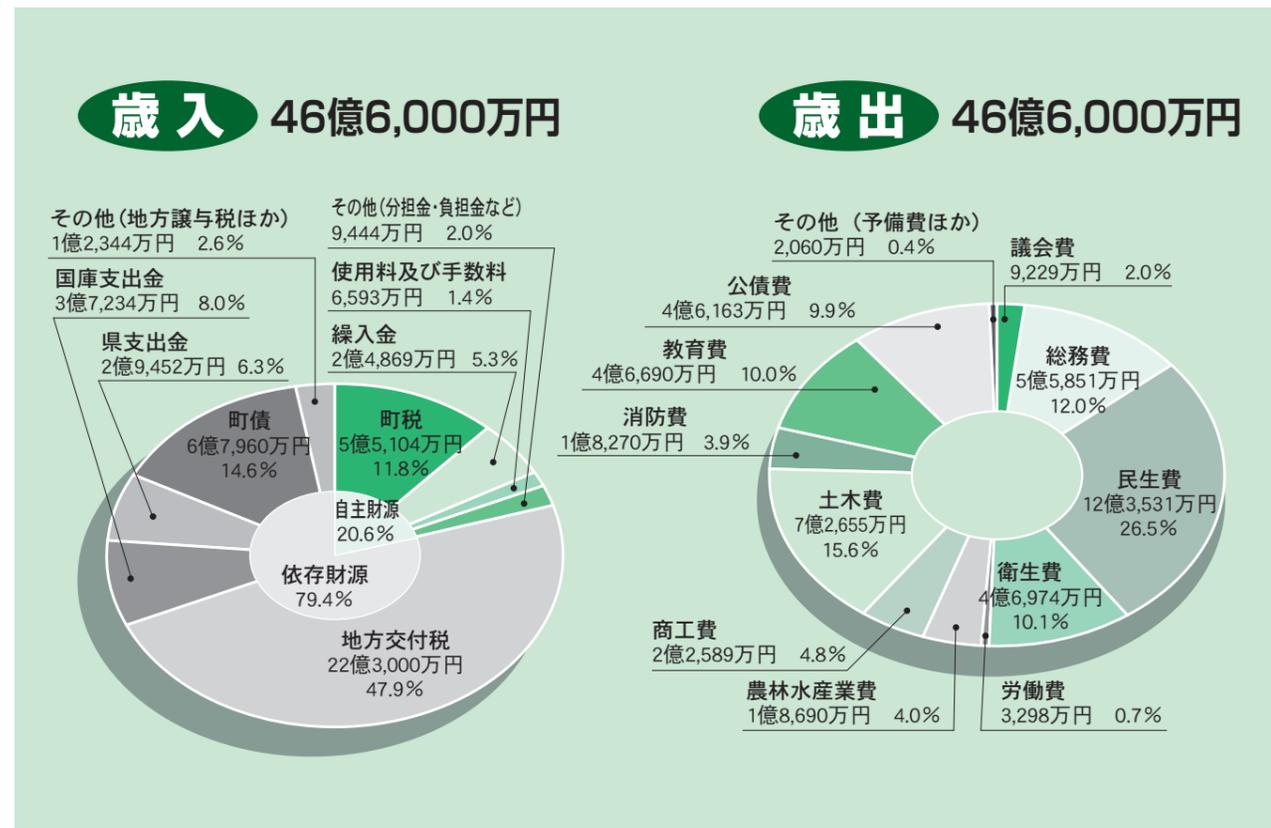
平成 25 年度のまちづくりと予算

平成 25 年度における 町政運営の重点テーマ

強みを活かした産業力の推進により、さらなる交流とにぎわいを創出する。
 安心できる定住環境を整え、地域を支える人材育成を図り、自信と誇りにあふれた活力ある町をつくる。

平成 25 年度の当初予算が決まりました。一般会計の総額は 46 億 6,000 万円で、昨年度に比べると 5 億 4,400 万円、13.2% 増の積極編成となっています。複数の大型建設事業に着手することがその理由です。

今年度は、「第 5 次朝日町総合発展計画（平成 20 年度～ 29 年度）」の後期初年度にあたる重要な年。限られた予算の中でも創意と工夫を心がけ、発展計画で掲げた「いつの時代も自信と誇りを持ち、住みたい、ずっと住み続けたい魅力あるまち」をつくりたい。





地域情報発信力強化事業 1,324万円

町の魅力を発信し、認知度向上とイメージアップを図るため、効果的な広報・宣伝活動を展開します。「情報交流推進員」を現在の1人から2人に増員するほか、町のホームページを更新します。



地域づくり推進事業 1,457万円

特色ある地域づくりのため、相談窓口を運営。地域づくり活動を応援する制度のメニュー化にも取り組みます。また、地域活動を支援する「朝日町協力隊」を、和合連合区および西部地区みどりの会(高田・長沼・白倉・大船木・今平地区で構成)に1人ずつ配置します。



一本松公園駐車場整備事業 250万円

「榎平の棚田」を一望できる能中地区の一本松公園。平成 11 年に「日本の棚田百選」に選ばれて以降、年間を通じて大勢のお客さまが足を運ぶようになりました。既存の駐車場だけでは手狭になることもあるため、近くに駐車場を追加整備します。



ブランド品維持支援事業 (ブドウ棚設置・改植補助) 200万円

朝日町ワインの製造に欠かせない町内産の加工用ブドウを確保するため、老朽化したブドウ棚の改修や樹木の改植に対し補助金を交付。朝日町ワインのブランドを維持します。



再生可能エネルギー推進事業 80万円

太陽光発電用パネルの設置者に対して補助金を交付するほか、小水力発電の実施に向け調査を行います。



特別支援学校就学支援事業 1,105万円

特別支援学校(主に山形市)に通学する児童や生徒の送迎支援を行い、保護者の負担を軽減します。(タクシー送迎もしくは燃料代相当額の補助)

新規事業目白押し 将来へ積極投資

主要施策

「産業力の推進による交流とにぎわいの創出」を重点テーマの一丁目一番地に挙げた今年度は、地域資源を活用し、町の外からお客さまを呼び込むため、「総合交流拠点施設」の整備に着手します。また、和合地域交流センターや盲特別養護老人福祉施設「和合荘」関連、町営住宅整備など、複数の大型建設事業に取り組みます。このほか、時代のニーズに対応した新規事業も数多く実施します。なお、総合交流拠点施設、和合地域交流センター、盲特別養護老人福祉施設「和合荘」に関しては、次号以降で詳しくお伝えする予定です。



観光施設整備振興事業

▶「総合交流拠点施設」の実施設設計と敷地造成 **7,812万円**

りんごをはじめとする地域資源(農産物)を活用した「交流・観光」による経済活性化を進めるため、「総合交流拠点施設」の整備に着手します。今年度は実施設設計と敷地造成等を実施。オープンは平成 27 年度を予定しています。



和合地区都市再生整備計画事業

▶「地域交流センター」の実施設設計と敷地造成 **1億2,426万円**

和合地域の振興を目的とした「地域交流センター」の建設や周辺の道路整備に着手します(国の補助金を活用)。場所は旧和合小学校の東側で、今年度は実施設設計と敷地造成を実施。完成は平成 26 年度の予定です。



盲特別養護老人福祉施設整備補助

▶「和合荘」の整備支援 **2億1,000万円**

視覚障害者を含む要介護者を対象にした福祉施設「和合荘」が今年度、社会福祉法人「朝日敬慎会」によって和合小跡地に整備されます。町は、備品整備費および運用資金として 6000 万円を補助する(うち 3000 万円は県の補助)ほか、建設資金として 1 億 5000 万円を貸付けます。平成 26 年 4 月開設予定です。



町営住宅建設事業

▶さゆり保育園跡地と大谷住宅団地に計 13 世帯分 **2億5,710万円**

町には現在、80 戸の町営住宅がありますが、いずれも高い入居率で、入居を希望してもできない状態が続いています。今年度は、国の補助を活用し、さゆり保育園跡地に 10 世帯分(集合住宅)、大谷東住宅団地内に 3 世帯分(戸建て住宅)の町営住宅を整備します。

職員体制

機構改革と 大幅な人事異動

今年度は町の産業の総合力を高めるため、産業振興課を「農林振興課(主に農政部門)」と「総合産業課(商工観光部門と起業支援部門)」に分割。また各地域の特性を活かした地域づくりを進めるため、政策推進課内に主幹(課長級)を配置しています。あさひ保育園(社会福祉法人あさひ会、以下「法人」)へ派遣していた職員のうち、保育士4人は各町長部局、教育委員会に配置。法人への運営移行がスムーズに進んだことから、町・法人の両者が合意した上で行われました。

新規採用は一般職8人、土木職1人、水道技術士1人、診療放射線技師1人及び医師(派遣)1人の計12人。職員数は前年4月1日と比較して5人減の155人となります(特別職除く)。 ※異動した職員は緑文字で表記しています。

建設水道課 (11人)

建設課長 長岡 典己
水道課長 長岡 勉
課長補佐 鈴木 良浩
管理係 安達 和史
副主査 熊谷三枝子
主事 佐竹 友貴
●整備係
係長(兼) 鈴木 良浩
主任 海藤 繁幸
技術師 菅井 宏支
水道係
主任(兼) 長岡 勉
主任 海野 淳
技術士 菅井 健太

町立病院 (47人)

院長(内科) 小林 達
副院長(外科) 櫻井 文明
副院長(内科) 高橋 潤
院長(内科) 渡邊 祐介
医長(内科) 梅津 睦
事務長 安藤 一夫

総看護師長 鈴木恵美子

●外来
看護師長 大江 一子
看護師 瀬尾美智子
看護師 長岡 史織
看護師 安藤かおり
看護師 佐藤かおり
看護師 鈴木 弘子
看護師 長岡ひとみ
看護師 白川由美香
看護師 若月 裕美
看護師 大竹 由理
看護師 鈴木 幸代
看護師 鈴木美保子
看護師 卯野留美子
看護師 布施 智子
看護師 野口小夜子
看護師 渡辺 美香
看護師 長岡 千恵
看護師 水戸部友子
看護師 小野 晶子
看護師 箱崎 綾子
看護師 武田 清華
看護師 舟山 舞
看護師 大嶋あゆみ
看護師 高橋 真澄
看護師 安孫子祥子
在宅医療相談室
在宅主任 佐藤みどり
看護師 関根 愛
看護師 近衛こずえ
看護師 庄田 聡美
X線室
診療放射線技師 梅津 睦
診療放射線技師 佐藤 伸彦

療養室
主任 清野 敏秀
理学療法士 伊藤 彩
作業療法士 阿部 忍
理学療法士 工藤 直美
●検査室
技師 岡崎まゆみ
技師 和賀美耶子
●給食室
管理栄養士 山岸 智美
●事務室
事務長補佐 花山 護
●庶務係
係長(兼) 花山 護
●医事係
主任 阿部 容一
主事 小林 舞夢

議会事務局 (2人)
事務局長 清野 直治

監査委員会事務局
主任 高橋さだ子
書記(兼) 清野 直治
書記(兼) 高橋さだ子

出納室 (2人)
会計管理者 阿部喜栄治
室長(兼) 阿部喜栄治
主査兼係長 齋藤 文子

教育文化課 (25人)

校長 橋間 友則
課長 佐藤 敏行
課長補佐 佐藤 修
主査 堀 俊一
●学校教育係
係長 伊藤 雅樹
主事 猪倉 薫
●教育研究所
事務局長(兼) 堀 俊一
主任 小野 康仁
主任 本間 真紀
主任 白田 征治
主事 鈴木沙那恵
主事 阿部 歩
●西部公民館
館長 鈴木 滝子
業務員 白田 京子
●北部公民館
館長 伊藤 真一
業務員 熊谷 由香
●西五百川小学校
校長 伊藤 真一
業務員 熊谷 由香
●宮宿小学校
校長 渡辺真由美
用務員 鈴木 敏一

健康福祉課 (21人)

課長 白田 久寿
課長補佐 小関 典子
課長補佐 松田 勝美
●福祉係
主任 小関 典子
副主任 清野 雅英
主任 阿部 祐子
主任 熊谷 忍
●子育て支援係
主任 佐々木直美
主事 和田 冴子
●健康推進係
主査兼係長 村山 敏子
主任(保健師) 太田 律
主任(保健師) 木村 朋恵
保健師 川村 美里
管理栄養士 古瀬久美子
主事 村井美恵子
主事 五十嵐 愛
●地域包括支援センター
係長 佐竹 文子
主任 齊藤ひとみ
主査兼係長 井上 幸恵
●保険給付係
主任 井上 幸恵

新規採用者(4月1日付)

町立病院 渡邊 祐介 (寒河江市)
健康福祉課 井上 幸恵 (西船渡)
建設水道課 佐竹 友貴 (大江町)
農林振興課 白田 淳 (西町)
町立病院 小林 舞夢 (寒河江市)
健康福祉課 五十嵐 愛 (舟渡)
健康福祉課 松尾 拓哉 (本町)
政策推進課 佐々木望美 (大谷二)

退任者(3月31日付)
副町長 高橋 清志
総務課長 熊谷 貞則
教育文化課長 堀 幸雄
会計管理者兼出納室長 井上 智恵美
●農政係
課長補佐 長岡 浩利
●農政係
係長 菊地早百合
主事 菅井 俊樹
主事 白田 淳
●事業係
係長(兼) 長岡 浩利
主任 小鹿 幸子
●農林振興課 (6人)
課長 三浦 浩一
●総合産業課 (6人)
課長 佐竹 長司
主査 鈴木 勝
●商工観光係
係長 岡崎 国宏
主事 高橋 登夢
主査兼係長 早坂 健一
主事 阿部 裕次

県より出向(4月1日付)
政策推進課 伊藤 清一郎 (山形市)
●県に復帰(4月1日付)
政策推進課 佐藤 守 (寒河江市)

町立病院総看護師長
長岡 浩子
副町長 高橋 清志
総務課長 熊谷 貞則
教育文化課長 堀 幸雄
会計管理者兼出納室長 井上 智恵美
●農政係
課長補佐 長岡 浩利
●農政係
係長 菊地早百合
主事 菅井 俊樹
主事 白田 淳
●事業係
係長(兼) 長岡 浩利
主任 小鹿 幸子
●農林振興課 (6人)
課長 三浦 浩一
●総合産業課 (6人)
課長 佐竹 長司
主査 鈴木 勝
●商工観光係
係長 岡崎 国宏
主事 高橋 登夢
主査兼係長 早坂 健一
主事 阿部 裕次

特別職
町長 鈴木 浩幸
副町長 川口 幸男
教育長 安藤 昭郎

総務課 (13人)
課長 長岡 信之
課長補佐 大谷 武一
課長補佐 高取のぶ子
課長補佐 鈴木 俊治
●行革推進係
係長(兼) 高取のぶ子
●庶務係
係長 藤沢 美子
主事 長岡 昭博
主事 松尾 拓哉
●防災係
係長(兼) 大谷 武一
主事 安藤 正人
主査兼係長 畑 英俊
主任 海野 裕喜
●管財係
係長(兼) 鈴木 俊治
業務員 清野 典子
業務員 近衛美智永
●県観光交流課へ派遣
主任 佐竹 秀文

選挙管理委員会
書記長(兼) 長岡 信之
書記(兼) 高取のぶ子
書記(兼) 藤沢 美子
書記(兼) 長岡 昭博
書記(兼) 松尾 拓哉

政策推進課 (10人)
課長 渡辺 政一
主幹兼地域振興対策室長 阿部 弘美
主査 阿部 正文
主任 伊藤清一郎
●定住・戦略推進係
係長 佐々木望美
●地域情報係
主任 阿部 正樹
主任 佐久間 淳
●地域振興係
主査兼係長 阿部 忠之
主事 佐竹 佑斗

税務町民課 (13人)
課長 佐竹 壽美
課長補佐 柴田 智子
課長補佐 西田 和之
●町民税・収納係
主任 伊藤 高敏

あさひ保育園(派遣)
副主査(保育士) 菅井 睦子
調理師 鈴木 和子
調理師 滝川 久恵
主任 伊藤 由佳
主任 落合 朝巳
主任 志藤 陽平
●環境・固定資産課
主任 近衛 智之
主事 安達 大司
●戸籍年金係(総合窓口担当)
係長 伊藤 博美
主事 五十嵐 真理子
主事 海野 恭子

総合産業課 (6人)
課長 佐竹 長司
主査 鈴木 勝
●商工観光係
係長 岡崎 国宏
主事 高橋 登夢
主査兼係長 早坂 健一
主事 阿部 裕次

農林振興課 (6人)
課長 三浦 浩一
●農政係
課長補佐 長岡 浩利
●農政係
係長 菊地早百合
主事 菅井 俊樹
主事 白田 淳
●事業係
係長(兼) 長岡 浩利
主任 小鹿 幸子
●農林振興課 (6人)
課長 三浦 浩一
●総合産業課 (6人)
課長 佐竹 長司
主査 鈴木 勝
●商工観光係
係長 岡崎 国宏
主事 高橋 登夢
主査兼係長 早坂 健一
主事 阿部 裕次

活用ください

産業立地奨励金

産業立地の促進と雇用機会の拡大を図るため、町では「産業立地促進条例」を制定し、事業所の設置あるいは事業規模の拡張、設備能力の拡充といった事業所の取り組みを、「事業所設置奨励金」と「雇用奨励金」とをセットで交付し支援しています。

このたび、(株)ニクニアサヒ工場（長澤一雄工場長／西原）では、ポンプ事業の拡大や製品開発力を強化し安定した生産体制を確立するため、機械工場を増築（989㎡）。町民を新規雇用した実績とあわせて、町は奨励金 1030 万円を交付しました。

機械工場を増築し、町民を雇用 (株)ニクニアサヒ工場に 1030 万円

3月28日、工場を訪れた鈴木町長から目録の交付を受けた長澤工場長。「弊社の工場がある県内他市町村にはない制度で大変ありがたい。町の広報誌（2008年6月号）で町内工場を紹介していただいてから、町内の就職者が増えている。これからも町民の雇用先となれるようがんばりたい」と語っていました。

平成24年度は、同工場のほかにも、設備投資を行った(株)カネヤス山形に274万円、(株)アサヒ技研に348万円が交付されています。町内事業所で今後も設備投資や町民の新規雇用を行う際にはぜひこの奨励金をご活用ください。

■問合せ先 総合産業課商工観光係 ☎67-2113



このほど増築された工場

寄付採納報告

■横看板2基 (304,500円相当)
中学校教育の振興のため
西町 安藤 昭郎 様 より

■金員 100,000円
ふるさと納税として
千葉県八街市 遠藤 みえ子 様 より

このほか、匿名を希望する9人よりふるさと納税として総額9万円の寄付を受けています。

きらやか銀行から3万円の寄付金

同行宮宿支店(山口 摂支店長)では2月下旬、「預金残高の0.03%相当額を町教育委員会に寄付する」という条件を盛り込んだ「西五百川小体育館落成記念定期預金」を募集しました。身近な学校の大きな節目にちなんだこともあるためか、短期間で募集総額の1億円が集まり、3月18日、条件に基づいた3万円が教育委員会に寄付されました。



◀町教育委員会の堀幸雄前教育文化課課長(右)に目録を渡す山口支店長(左)

■奨学金貸与事業は町が行う
昭和60年度より財団法人朝日町育英会が奨学金の貸与事業を行ってきたが、法改正により3月31日付けで法人を解散した。4月1日以降は町が事業を引き継ぐ。



朝日中学校入学式 (4月6日)

■25年度の小中学校新入生
小学校が47人(町内3学校合計)で、中学校が53人。

町政報告

3年連続の豪雪対策本部

2月中旬から降り続いた豪雪により、2月22日に豪雪対策本部を設置した。雪下ろしにおける人的被害が2件発生(うち1件は死亡事故)したことから、対策本部で2回の注意喚起情報紙を発行。再発防止に努めた。

長寿者に賀詞を贈呈

今年めでたく米寿を迎えられた90人と、長寿者(数え年100歳以上)12人に対し、1月9日、賀詞や祝品を贈呈した。

あさひ保育園の園児数

平成25年度当初の入園予定者は171人(0歳児5歳児)。新入園児は58人。



あさひ保育園入園式 (4月7日)

「歯ッピースロン」を実施

口腔機能向上を目的に23年度から実施。歯科医師・歯科衛生師による講話、実技について、4回コース15人が学んだ。

りんごの輸出状況

今年度は昨年より3トン多い171トンで、1月下旬には台湾でトップセールを行った。新たに鮮度保持の処理を行ったことにより、品質面で高い評価をいただいた。来年は出荷量の増加を期待している。

町内で「おしん」ロケ

昭和58年4月から1年間放送されたNHK連続テレビ小説「おしん」の映画化が決定し、2月中旬から山形県内で撮影が行われた。

朝日町では2月16日、宮宿字清水地内の最上川、通称「すず」において、メイニンシンのロケが行われ、無事終了した報告を受けている。映画は

10月公開予定となっており、朝日町が全国にPRされることを期待している。

一本松公園(能中)駐車場用地として寄付を受ける

平成25年度に整備する一本松公園駐車場の用地として、志藤武志元朝日町長の孫、志藤文章氏より6筆(3935㎡)の土地の寄付申し込みがあり、ありがたく採納した。

持家住宅建築奨励助成金

3月1日現在で96件の申請を受理している。このほか、住宅リフォーム総合交付金事業は40件の申請があり、持家住宅建築奨励助成金の事業費

議会

町議会 3月定例会

3月6日から14日まで9日間の日程で、町議会3月定例会が開催されました。

議案は平成25年度町一般会計及び各種特別会計当初予算など37件。審議の結果、全議案が可決・承認されました。



人権擁護委員に 遠藤康男氏(栗木沢)、清野美恵氏(四ノ沢)

前委員の宮本千代子氏(西船渡)、渡邊勇一氏(西原)に代わって、4月1日付で着任しました。任期は平成28年3月31日までの3年間。



3組のカップルが誕生！ スノーランタンPARTY

■問合せ先 婚活推進連絡会議事務局（政策推進課定住・戦略推進係） ☎67-2112



ペアトークを楽しむ参加者たち

町婚活推進連絡会議主催によるカップリングイベント、「スノーランタンPARTY」が3月16日、朝日自然観で開催され、町内外から男性10人、女性9人が参加しました。

当日は、雨や強風のためスノーランタン作りは中止となりましたが、蜜ロウソク職人・安藤竜二さんの指導のもと、エコミュージアムカルタを使ったカルタ取りや蜜ろうそく作りが行われ、参加者たちは、和気あいあいとした様子で交流を深めました。

また、ディナー会場では、フリートークやペアトークで盛り上がり、最後に意中の相手を記載したアプローチカードを提出。結果、3組のカップルが誕生しました。

県との人事交流職員が交代



よろしく
お願いします。

政策推進課 定住・戦略推進係長
伊藤 清一郎

ご縁があり、4月1日から朝日町にお世話になっていました。3月までは教育庁で予算関係を担当していました。出身は山形市ですが、友人とAsahi自然観でキャンプをしたり、空気神社も訪れことがあります。朝日町に赴任することを知った時は、真っ先にその思い出が頭に浮かびました。

政策推進課では町の計画づくりや、空き家対策、婚活支援などの業務を担当します。いずれも重要な業務ですので、身の引き締まる思いです。少しでも多く朝日町のことを勉強して、町づくりのために頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、町職員では、4月1日付で町に復帰した伊藤雅樹係長（教育文化課学校教育係）に代わり、佐竹秀文主任が同日付で県に出向。商工労働観光部観光交流課で、県の観光PR業務を担当しています。



お世話に
なりました。

政策推進課 前定住・戦略推進係長
佐藤 守

2年間、多くの経験をさせていただきました。特に空き家バンクでは、自分の予想をはるかに上回る利用希望申込みがあり、この町に住みたいと思っている人の多さに驚きました。また、移住された方々が町を好きになり、そして地域の方々が温かく迎え入れる光景を目にするたびに、朝日町は、「住みたい、ずっと住み続けたい町」ということを実感しました。

異動先は県庁の市町村課で、地域コミュニティの支援を担当しております。朝日町での経験を活かしていける仕事です。今後は、朝日町の一ファンとして町の魅力を伝えていきます。2年間ありがとうございました。

旧三中分校校舎が県指定文化財に

■問合せ先 教育文化課生涯学習係 ☎67-2118



旧三中分校の校舎（上）と丸窓からの眺め（左）。近くには説明看板も設置されている（下）。



町指定文化財「旧三中分校」が、山形県指定有形文化財（建造物の部）として県教育委員会より指定されました。

旧三中分校は、明治15年（1882）、三中学校として建てられた非常に古い校舎。平成8年（1996）3月、分校が本校（西五百川小）に統合されるまで使われ、翌9年に町有形文化財に指定されました。壁は和風の土蔵造りで、内外ともに漆喰仕上げの白壁建築。和風様式を基にしながらも、3階部の丸窓などに西洋建築の特徴があり、当時としては稀にみる、堂々たる白亜の3階建校舎です。県文化財保護審議会では、「明治初期の建築として大変珍しい。歴史的にはもちろん、地方史、教育史などの分野においても貴重な存在」と高く評価しています。

念願であった県指定を受け、町教育委員会では今年度中に「(仮称)旧三中分校保存整備委員会」を設置。今後の保存や活用について検討を始めることとしています。

今年4月1日時点における町の文化財は国指定が2件、県指定が5件、町指定が24件。これらの宝について広く知っていただくため、委員会では今後町内の文化財を紹介する「(仮称)朝日町文化財マップ」を作成し配布する予定です。

「夢」と「希望」

奇跡を生む秘められた力

町長歳時記
(85)

「私たちの脳は、意欲の方向に働きを変える」。これは、浜松医科大学名誉教授、高田明和先生の言葉です。
人間の脳（大脳）は、右脳と左脳で違いがあることは広く知られています。右脳は左半身の運動神経中枢等をつかさどり、左脳は言語能力と右半身の運動神経中枢等をつかさどり、脳は言語能力と右半身の運動神経中枢等をつかさどっています。しかし左脳が脳梗塞になっても、必ずしも必死のリハビリの結果、徐々に話もできるようになってきたと、多数報告されているそうです。後でよく調べてみると、右脳に本来備わっていないはずの言語能力や、右手を動かす能力の機能が、その右脳に形成されてきていると言っています。「無」から「有」を生み出す。これはまさに不可能を可能に変える、人間の決死の奇跡かもしれません。

「もっ一度話ができるように」
「私たちが人間は、「こうありたい」、「そうなりたい」という夢や希望、または目標をもって生きています。これらは、私たちが生きていく上での重要な原動力となり、活力ある生き方の機付けとなっています。その強い思いを抱きながら、あきらめず、たゆまぬ努力を続けることよってのみ、夢や希望をかなえ、目標を成し遂げることができるのです。
桜咲く春はスタートの時。夢と希望を胸に、大きく羽ばたいていきたいと思います。」
朝日町長 鈴木浩彦

Births すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
杉山	齋藤 修悟	男	佑輔・里美
立木	渡部 純也	男	康弘・弘美

Marriages おしあわせに

菅井 貴史 (沼向) ♥ 松田 麻耶 (天童市)

Obituaries やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
下芦沢	岡崎 栄藏	信博
元町宿	高田 高吉	芳太郎
助ノ巻	佐藤 勇	裕之
本町	柴田 精司	孝司
松程	鈴木 徳博	聡
松原	鈴木 みよ子	裕一
大町	安藤 春重	学
大谷五	菅井 時雄	朝子
松程	長岡 ヨシ	鋭一
送橋	阿部 このゑ	功
舟渡	渡邊 ひな子	本人
太郎一	堀 恒夫	茂昭
	長岡 ひさ子	喜久雄

掲載を希望しない場合は届出の際にお申し付けください

Population 人口と世帯数

●平成25年 3月31日現在
 人口 7,786人(-30)
 男 3,833人(-8)
 女 3,953人(-22)
 世帯数 2,480世帯(±0)
 ()内前月比
 3月中の異動
 出生 2人 転入 19人
 死亡 13人 転出 38人
 (※外国人を含む)



建築模型で県最優秀賞 安藤克久くん(松原)

建築関係の学科で学ぶ県内の高校生を対象にした「県内高校建築設計デザインコンクール」の審査会が2月下旬に行われ、安藤克久くん(松原)をメンバーの一人とする山形電波工高が模型部門で最優秀賞を獲得しました。

県建築士会が毎年開催しているもので、今年で60回目。模型部門には建築関係の学科がある6校から12点の作品がエントリーされました。安藤くんら山形電波工チーム(5人)の出品作は、このほど復元されたばかりの東京駅の赤レンガ駅舎(=下写真)で、スケールは高さ約50cm、幅約120cm、奥行き約60cm。本物の百分の一のサイズです。復元後、まだ日が浅く、市販の模型見本もないなか、完成度の高い作品に仕上げた点が評価されました。

3月で同校を卒業し、現在は山形市内の専門学校で建築の仕事を学ぶ安藤くん。「入賞できればいいな、くらいにしか思っていなかったのですが、とても驚いています。私たちの高校が最優秀賞を獲得したのは初めてと聞いています。本当にうれしいです」と喜びを語っていました。



みなさんからおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。なお、無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先/〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
 朝日町役場 政策推進課 地域情報係
 (電話:67-2112 ファックス:67-2117)
 ■メール/inform@town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

車止め、本当に必要ですか？

問 昨年秋、蔵ハイツ大町から「あさひ旅のココロ館」へ通じる道に、車両止めが設置されました。

連れやカートを押しながら歩行するご老人の邪魔になっていきます。撤去を強く要望します。

車両が進まないようにとの処置だとは思いますが、一般車では今まで1台もこの道を通ったことがないと思います。何故今頃になって設置したのでしょうか？

答 この車止めポールは、みなみハイツ、蔵ハイツ大町の入居者から要望があり設置したものです。

この道やココロ館の広場は、子ども達の少ない遊び場の一つです。自転車や三輪車などを乗ったりする道です。設置後はベビーカーを押しながら通行する親子

ココロ館と蔵ハイツを結ぶ道は歩行者用ですが、時折車両の通行がありました。両住宅の入居者は子育て世代が中心で、小さい子どもが多いことから、安全確保のために設置しました。



奥の建物があさひ旅のココロ館

近隣にお住まいの皆様におかれましては、支障をきたすこともありませんが、ご理解をお願いします。
 【建設水道課】

表紙の写真



リニューアル第一号の表紙を飾ってくれたのは、中沢地区に住む堀愛姫さん(大谷小5年=右)、葉汰くん(3年=左)、光姫さん(1年=中央)のきょうだい3人。新年度登校初日となった4月9日、快晴の青空の下撮影させていただきました。学校までは約2.5キロ、約50分の道のりで、家を出るのは毎朝7時10分頃とのこと。今後2年間、毎日3人そろって登校します。

あさひまち → ASAHIMACHI

広報 あさひまち

表紙の題字などをリニューアルしました。

3月号までの「あさひまち」の題字は、導入からすでに20年以上が経過していました。広く定着している一方、マンネリ感もあったことから、このほど広報委員会の同意を得て、イメージを一新しました。題字をアルファベットにした理由は、今後町を支える若い世代や、町に関心のある町外者の関心を高め、新たな購読者を掘り起こすため。町のシンボル

であるりんごや町章も取り入れています。表紙のほか、町政スポットコーナーもレイアウトを変更し、記事に担当課と問合せ先の電話番号を表記。フォント(文字)は、ユニバーサルデザインを取り入れた、読みやすい字体を導入しています。新しくなった「ASAHIMACHI」をよろしくお願いたします。

第54回 こども県展 入選作品



「色ちがいの魚が
いっぱいいる海」

長岡 真生 くん
(西五百川小6年)



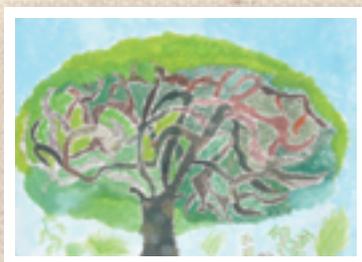
「鳥の国へレッツゴー」

佐藤 玲奈 さん
(西五百川小6年)



「窓から見える風景」

阿部 雪奈 さん
(朝日中1年)



「しぜんの木」

遠藤 美翔 さん
(大谷小5年)



激流の中で技を繰り出す選手 (前回大会より)

ワールドクラスの選手が集結

日本カヌーフリースタイル選手権大会 (2013 カヌーフリースタイル世界選手権派遣選手選考会)

社団法人日本カヌー連盟が主催する国内最高峰の大会です。日本を代表する選手が日本一の座をかけて技を競います。ぜひご観戦ください。

- ▶日 時 4月28日(日) 午前9時開会
- ▶場 所 玉ノ井カヌーランド
- ▶その他 競技会場は最上川の河畔です。観戦の際は十分お気を付けください。また、駐車場は混み合うことが予想されます。お車でお越しの際は周囲の迷惑にならないようお気をつけください。

春夏秋冬 編集後記

リニューアルした
誌面とともに
新たなスタート

誌面をリニューアルしました。表紙ががらりと変わりましたので、「広報あさひまち」だとわからなかった人も少なくないと思います。表紙は平成2年以來23年ぶりのリニューアルです。それだけに「かっこいい題字に負けない写真を撮らねば…」とどこか気負っていた自分。締切りが近づくにつれ、変なプレッシャーばかり感じていて、あれこれ迷う日々が続いていました。表紙の一枚が撮れたのは、締切

りの2日前でした。まぶしい朝日を背中に浴びながら、新年度の第一歩を踏み出すきょうだ。新シーズン、そして本誌の新たなスタートにもってこいの一枚と思いました。そして何より、3人の笑顔を見て、自分の迷いがバカバカしく思えました。やはり「考えるよりも行動」ですね。担当7年目となる今年度、「通算7年目」ではなく、小学校を卒業し、中学一年生になったつもりで、また一年間がんばります。 佐久間 淳